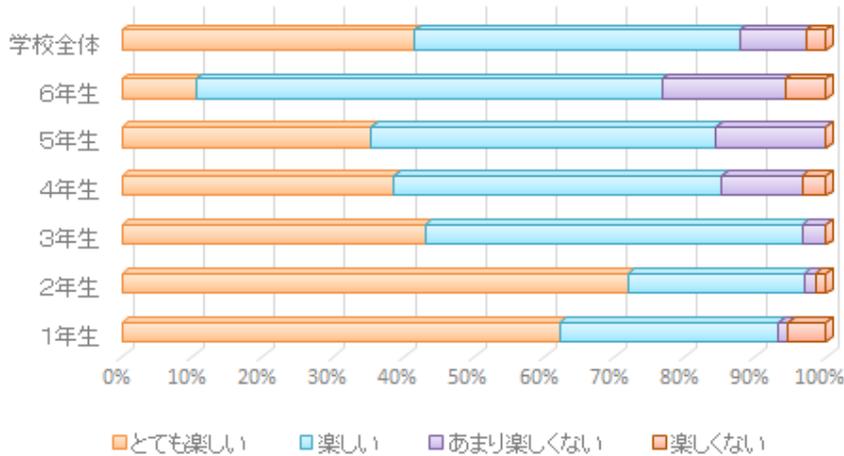


令和2年度 外国語科に関する調査結果

天草市立本渡南小学校

英会話科の授業は楽しいですか？

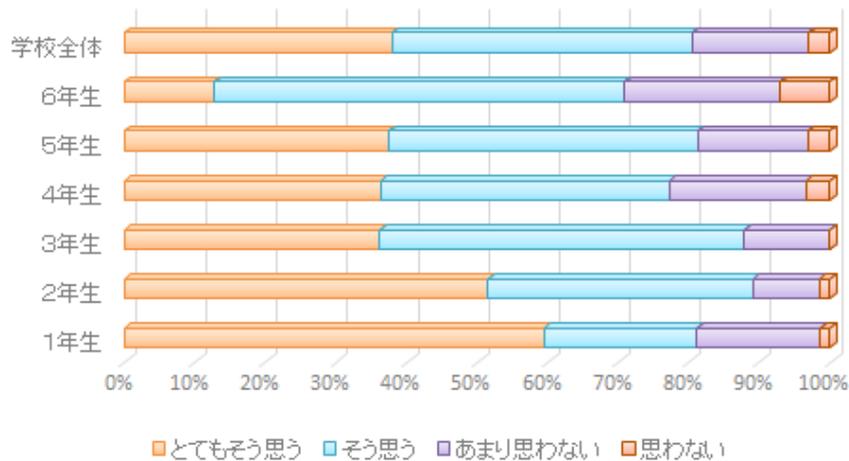


約88%の児童が外国語科の授業は楽しいと答えている。どの学年も、楽しいと答えている児童の割合が多いが、高学年になるにつれて、楽しくないと答える割合が増えてくる傾向にある。

中学年では、話す・聞く活動、高学年では、話す・聞く活動に加えて、読む・書く活動がある。

全体を通して、主体的で能動的な授業を心掛けたい。

英会話科の授業は好きですか？



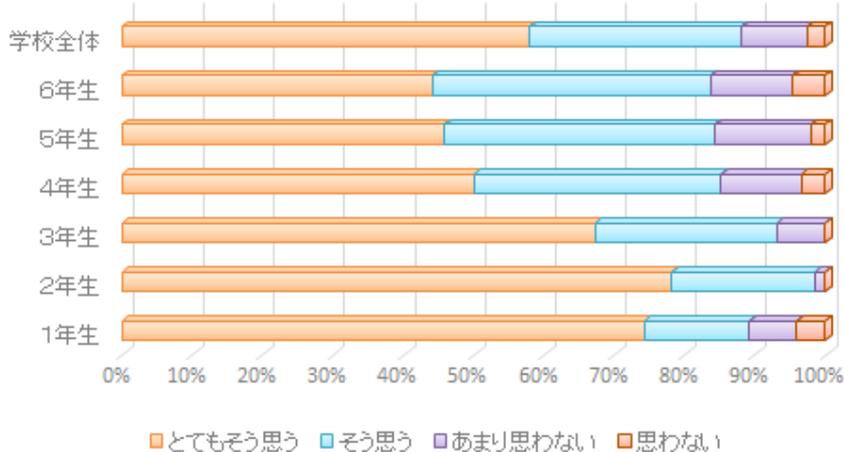
約76%の児童が英語の授業が好きだと答えている。

授業では、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が多い。

一方で、高学年になると、学習内容が多くなり、難しさを感じる児童もいる。

英語の授業がよく分かり、好きになるような授業づくりを工夫していきたい。

もっと英語が話せるようになりたいですか？



学校全体の約88%の児童がもっと英語を話せるようになりたいと答えている。

毎時の授業の中でのコミュニケーションタイムやスモールトークの時間の中で、学んだ英語を使って友達と会話を楽しんだり、また、授業外でも英語で声掛けをすると、自然と英語で返してきたりする児童の姿が見られた。

また、ALTと積極的に話す姿が見られた。

～保護者・学校関係者より～

- ・英語の表現を身に付けている子だけでなく、表情やジェスチャーまで身に付けている子が多く、コミュニケーションに大切な力が身に付いていることがよくわかった。
- ・英語の授業だけでなく他教科や日常生活の中でも学習した英語を活用する児童の姿が見られた。実生活と関連した「生きた英語」を学習していると感じた。
- ・授業の冒頭でコミュニケーションで大切にしたいこと、クリアボイス・アイコンタクト・スマイル・ジェスチャー・リアクションの5つのポイントが押さえてあり、子供たちはこれを意識してやり取りを行っていた。これは他教科でも使えることなので、是非広げるとよいと思った。
- ・授業外でも、あいさつ等、簡単な会話が自然とできる子どもたちが増えてきた。
- ・ただ聞いて学習する授業ではなく、体を動かしながら学習するため、子どもたちもいきいきとしていた。外国語活動の授業が好きな子どもがたくさんいます。
- ・聞き取る、会話する、ゲームを使い慣れるという活動がテンポ良く展開され、子どもたちは楽しい雰囲気の中で自然と聴く力、会話する力が身に付いたように思う。積み重ねの大切さを実感した。